

2018年12月 キューバ情勢

【概況】

1 内政

- (1) 携帯電話の3Gサービス開始
- (2) 2018年ニッケル生産量5万トン
- (3) 人民権力全国議会第9立法期第2回通常会期

2 外交

- (1) ディアスカネル国家評議会議長のメキシコ訪問
- (2) エルナンデス国際関係高等院（ISRI）副学長の訪日
- (3) モイーズ・ハイチ大統領の来訪
- (4) 金永南北朝鮮最高人民会議常任委員長の来訪
- (5) 第19回キューバ・ベネズエラ両政府間委員会会合の開催
- (6) 第16回米州ボリバル同盟（ALBA）政治協議の開催
- (7) 日本人キューバ移住120周年記念訪問団
- (8) 第3回日・キューバ官民合同会議の開催
- (9) 第15回日玖両経済懇話会合同会議の開催
- (10) キューバ野球連盟（FCB）と米大リーグ機構（MLB）との協定合意
- (11) ルモワンヌ・フランス欧州・外務大臣付担当長官の来訪

【本文】

1 内政

(1) 携帯電話の3Gサービス開始

6日、キューバ全国において携帯電話の3Gサービスが開始され、キューバ通信公社（ET E C S A）との契約の携帯電話でのデータ通信が可能となった。ホルヘ・ペドロモ通信大臣の発表は、同サービスはキューバ国内の情報化政策の一環である。通信料は30日間有効で、600MBで7CUCから4GBで30CUCまでの4段階。

(2) 2018年ニッケル生産量5万トン

13日、エデル・オリベロス・クーバニッケル社社長は、2018年のニッケル及びコバルト生産量が5万トンを超えるだろうと発表した。キューバはニッケルやコバルトを中国、欧州諸国、カナダに輸出している。

(3) 人民権力全国議会第9立法期第2回通常会期

21日、ラウル・カストロ共産党第一書記、ミゲル・ディアスカネル国家評議会兼閣僚評議会議長、ホセ・ラモン・マチャード共産党第二書記の出席の下、エステバン・ラソ人民権力全国議会議長が議会本会議を開会した。

同本会議では、オメロ・アコスタ国家評議会書記から2018年に同会議で承認された諸点につき概要の説明を行った後、アレハンドロ・ヒル経済企画大臣から2018年の経済情勢及び2019年の経済見通しについての説明、リナ・ペドラサ財務価格大臣から2018年予算執行及び2019年予算案についての説明がそれぞれなされた。

また、アコスタ書記は国民諮問を踏まえて委員会にて改定された憲法改正案を発表し、翌22日、満場一致で同改正案が可決され、2019年2月24日に発効のための国民投票が行われることが発表された。

2 外交

(1) ディアスカネル国家評議会議長のメキシコ訪問

1日、ディアスカネル国家評議会議長は、大統領就任式に参列するため、メキシコを訪問した。同議長は、メキシコ滞在中、アンドレス・ロペス・オブラドール大統領と会談したほか、ニコラス・マドゥーロ・ベネズエラ大統領及びエボ・モラレス・ボリビア大統領とも会談した。

(2) エルナンデス国際関係高等院（ISRI）副学長の訪日

3日から7日にかけて、ヘラルド・エルナンデス国際関係高等院（ISRI）副学長は、第5回「キューバへの連帯会合」に出席するため、日本を訪問した。日本滞在中、同副学長は広島及び長崎も訪問した。

(3) モイーズ・ハイチ大統領の来訪

3日、ディアスカネル国家評議会議長はキューバを訪問中のジョヴネル・モイーズ・ハイチ大統領と会談し、ハイチにおけるキューバ人医療協力者の活動を評価するとともに、協力関係を引き続き発展させる関心を表明した。

(4) 金永南北朝鮮最高人民会議常任委員長の来訪

4日、ラウル・カストロ共産党第一書記は、キューバを公式訪問中の金永南北朝鮮最高人民会議常任委員長の表敬を受けた。会談において、両者は、両国の党及び政府間の関係の進展に満足の意を示し、関係強化のための意思を確認した。また、国際場裡のアジェンダについて意見交換した。金永南委員長はラウル・カストロ第一書記に対して、金正恩国務委員長によるメッセージを伝達した。

同会談には、北朝鮮側からPak Tae Song共産党中央委員会副委員長及びMa Chol Su駐キュー

バ大使が、キューバ側からロドリゲス共産党政治局員兼外務大臣が、それぞれ同席した。

(5) 第19回キューバ・ベネズエラ両政府間委員会会合の開催

14日、第19回キューバ・ベネズエラ両政府委員会会合が開催され、キューバ側からはカブリサス閣僚評議会副議長が、ベネズエラ側からはデルシー・ロドリゲス副大統領が、それぞれ議長として出席した。同会合では、22件のプロジェクトで構成される2019年協力年間計画が採択された。

(6) 第16回米州ボリバル同盟（ALBA）政治協議の開催

14日、ハバナにおいて第18回米州ボリバル同盟（ALBA）政治協議が開催された。キューバからはラウル・カストロ共産党第一書記及びディアスカネル国家評議会議長が出席したほか、ベネズエラ、ニカラグア、ボリビア、ドミニカ国及びセントビンセント及びグレナディーン諸島から国家元首の参加があった。閉会式で、ロドリゲス外務大臣が、最終宣言の発表を行った。

(7) 日本人キューバ移住120周年記念訪問団

17日、ハバナにおいて日本人キューバ移住120周年記念公演が行われ、古屋圭司・日本・キューバ友好議員連盟会長を団長とする記念訪問団が出席した。

古屋会長一行は、キューバ滞在中、ディアスカネル国家評議会議長を表敬したほか、カブリサス閣僚評議会副議長との会談や日系人慰霊堂参拝などを行った。

(8) 第3回日・キューバ官民合同会議の開催

17日、ハバナにおいて第3回日・キューバ官民合同会議が開催された。同会議には日本の8機関から31名、14企業から33名の代表が出席して行われた。同会議の最後には、中期経済アジェンダが、佐藤正久外務副大臣及びロドリゴ・マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣の間で署名された。佐藤副大臣は、次回同会議は2020年に東京で開催されると発表し、同会議では今回の合意の進捗を確認すると述べた。また、マルミエルカ大臣は、同会議では来年（11月16日）に500周年を迎えるハバナ市の保健医療、農業、交通、環境保全及び衛生に関する議題が話し合われた旨述べたほか、キューバ政府が懸案となっている全ての義務を履行し、日本との経済関係を強化する用意がある旨強調した。

(9) 第15回日玖両経済懇話会合同会議の開催

18日、ハバナにおいて第15回日玖両経済懇話会合同会議が開催された。オランダ・エルナンデス・キューバ商業会議所会頭（元駐日大使）は、日本との貿易関係及びその関係強化に向けた取り組みに満足の意を表すとともに、こういった会合は貿易関係の進捗を確認し将来

に向けて尽力することに寄与するものだと語った。また、同会頭は、約束を遅れずに履行すべく、キューバ政府が懸案事項に対して可能な限り早急に解決する用意があることを強調した。同会議では、マルミエルカ大臣と近藤智義・日本キューバ経済懇話会（ＪＣＥＣ）会長との会談や、キューバ企業による契約の可能性についての様々な発表が行われた。キューバ側からはキューバ投資庁（ProCuba）、観光省、エネルギー関連輸入公社（エネルゴインポート社）が輸出可能性のある産品やキューバの潜在力を強調し、日本側からは三菱商事、丸紅、クレオ・トレード及びJETROが二国間貿易の情勢や関連した要請について発表を行った。

（１０）キューバ野球連盟（FCB）と米大リーグ機構（MLB）との協定合意

１８日、キューバ野球連盟と（FCB）と米大リーグ機構（MLB）は、キューバ人野球選手が亡命せずに米大リーグでプレーすることを可能にする協定に合意した旨を発表した。同協定は、キューバ人野球選手が米大リーグでプレーするために危険を犯して密輸入業者を通じて違法に渡米することを防ぐために作られたもので、選手の移籍金がFCBに支払われることも明確に定められている。

（１１）ルモワンヌ・フランス欧州・外務大臣付担当長官の来訪

２１日、ジャン＝バプティスト・ルモワンヌ・フランス欧州・外務大臣付担当長官は、第３回二国間経済・貿易委員会会合に出席するため、キューバを訪問した。また、同長官は、対価基金について協議する第３回戦略的指導委員会にも出席した。

２３日、カブリサス閣僚評議会副議長は、ルモワンヌ長官と会談し、両政府間で署名した合意の進捗や両国企業のビジネス状況を中心に協議された。

３ 要人往来

（１）来訪

モイーズ・ハイチ大統領

金永南北朝鮮最高人民会議常任委員長

古屋圭司・日本キューバ友好議員連盟会長一行（日本人キューバ移住１２０周年記念）

佐藤外務副大臣（第３回日・キューバ官民合同会議の開催）

ルモワンヌ・フランス欧州・外務大臣付担当長官

（２）往訪

ディアスカネル国家評議会議長のメキシコ訪問（大統領就任式参列）

エルナンデス国際関係高等院（ISRI）副学長の訪日